

認知症地域医療連携協議会 開催



福岡県警察本部
運転試験課
調査官兼課長補佐
警部 黒木郁子氏



院長 豊永 武一郎



センター長 柴原 浩

改正道路交通法の概要、75歳以上高齢者運転者に交通事故の現状
[全国、福岡県]、令和元年12月19日、警察庁発表の内容、安全
運転相談ダイヤル#8080（シャープハレバレ）などを報告。

令和2年2月7日（金）18：30～20：35まで、当院・6階グランドホールにて、
令和元年度 第2回認知症地域医療連携協議会
を開催致しました。

本会議は、認知症医療センターの役割の一つである、地域連携の推進を図る為に、開催させて頂いたものです。今後、本会議を通じて、認知症の方々が安心して地域で生活できるように、関係機関の皆様方と顔の見える関係を構築し、それぞれの機関が担う役割を認識していくことを目指しています。

当日は嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所職員、飯塚市、嘉麻市、桂川町の担当職員の方々、社会福祉協議会、飯塚地区消防本部、ケアマネジャー、グループホーム管理者の方々、福岡県弁護士会所属の弁護士の方々など36機関52名の方々（うち、院内スタッフが運営として11名参加、オブザーバー参加が4名）が出席しました。議題としましては、下記のとおりでした。

- 1) 院長挨拶、センター長挨拶（院長 豊永 武一郎、センター長 柴原 浩）
- 2) 福岡県認知症医療センター 飯塚記念病院 平成26年～30年の実績報告、令和元年度事業進捗状況、令和2年度事業計画（案）報告（飯塚記念病院認知症医療センター室長 P SW江頭関巳）
- 3) 話題提供：①「改正道路交通法（高齢者運転対策）施行から3年を迎えて～福岡県の現状について振り返る～」 話題提供者 福岡県警察本部 運転試験課 調査官兼課長補佐 警部 黒木郁子氏
②飯塚圏域（飯塚市、嘉麻市、桂川町）における運転免許自主返納事業の現状について
- 4) グループワーク：「改正道路交通法施行における現状や課題について、それぞれの立場から考える」
- 5) 全体での報告

全体の報告会では、安全運転相談ダイヤル（#8080）を知らなかった、自主返納に向けての苦勞、返納後の課題などの意見が寄せられ、会議後のアンケート結果では、「認知症の進行で運転が危ないとの思いもある一方で、本人の生きがいや生活の基盤にもなっている。免許証返納は大きな課題だと思っています。」などの声が寄せられました。全体的にも、9割以上の方々が大変満足、満足との回答を得ました。

今後とも会議へのご参加とご協力を宜しくお願い致します。



グループワークの様子です。
～皆さん、真剣に意見交換しています～

次回会議は、令和2年9月4日金曜日 午後6時30分から午後8時30分までです。

内容は、「中間市における生活支援体制整備における課題への取組～生活支援コーディネーターとは？」という演題で、中間市 保健福祉部 介護保険課 高齢者支援係 生活支援コーディネーター 原舞様による話題提供を予定しています。オブザーバー参加をご希望の方もお気軽にご相談ください。